



9月度の
の御書

「上野殿後家尼御返事」

御文

あいは葉のときよりも、
なおそむればよいよあ
おし。法華経はあいのこ
とし、修行のふかきはい
よいよあおきがごとし。

(御書新版1834ページ 御書全集1505ページ)

意味

植物の「あい」は、その葉か
らとった青色のもとで何回も染
めれば、葉のときよりも、いよ
よ青くなります。法華経も「あい」
のようなものです。修行が深ま
るといのは、ますます青くな
るようなものです。

何があっても負けない人はヒーロー

こんにちは！ ライオン博士のキング君だよ！ みんな、
夏休みの自由研究は、どんなテーマにした？ ボクは大好
きな「青色」について調べただけだね。青色って実は
……、100種類以上もあるんだ！ ふふふ。びっくりした
でしょ。今回は、そんな「青」にちなんで御書を学ぶよ。

「あい染め」という、日本で最も古いと言われる、布や
糸を青く染める方法がある。あい色は、インディゴブルー
などとも呼ばれる、夜空のような深い青色のことだよ。あ
いという植物の葉から作った液体に布をひたすと、布が
青色に染まるんだ！

この「あい染め」の作業を何度も何度もくり返すことで、
青色はどんどん濃くなっていく。最初の青色より、もっとあ
ざやかな青色になるんだ。

この「あい染め」の話には、日蓮大聖人の願いがこめら
れているよ。それはボクたちに、師匠以上に立派になって
ほしいという思いなんだ。師匠よりも立派に？ なんて大
きな目標なんだろう……！

でも、獅子王御書を毎月読んでくれているみんなは、

生活のいろいろな場面で、学んだことを思い出すんじゃない
かな。

例えば「今日はやる気が出ないや〜」ってあきらめそう
になった時には「はっ！ さては魔が現れたな？」って気
づくこと、ない？

他にも「勇気が出ないよ〜」なんて、弱気になってしまっ
た時には「よし、お題目だ！」って立ち上がる方法を知っ
ている。

みんなは「あい染め」をくり返すように、御書を学び続け、
毎朝、毎晩の唱題をがんばっている。その中で、みんなの
心にはライオンキングの力がわいて、大小のさまざまなか
べを乗り越えながら成長しているんだよ。

そうして何があっても負けない力を身につけているみん
なは、すでに家族や周りの人を笑顔にする立派なヒーロー
だ。そう、ボクたちの師匠・池田先生のように。

池田先生は、いつだってボクたちを応援しているよ。

「君たちよ！ 偉くなれ！ 断じて偉くなれ！ 強くなれ！
徹して強くなれ！ そして羽ばたけ、広い世界へ！」と。

ボクの目には、みんなの背中に「あい染め」ブルーのマ
ントがはためいて見えるよ！ みんな、とってもカッコいい
なあ！